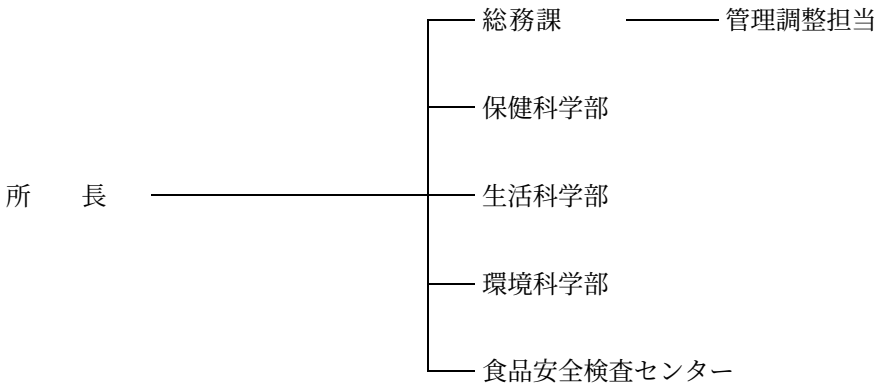
1 沿　革

昭和 23 年　3 月　衛生研究所開設（岐阜市司町　県庁内）
26 年　8 月　衛生研究所新築移転（岐阜市八ツ梅町）
40 年　4 月　衛生研究所に公害研究センターを新設
43 年　4 月　衛生研究所に公害研究所を付置
45 年　3 月　衛生研究所新築移転（岐阜市野一色）
45 年　4 月　公害研究所，衛生部より企画開発部へ所管換
47 年　4 月　公害研究所，企画開発部より環境局へ所管換
48 年　4 月　衛生研究所に薬事指導所を付置
49 年 12 月　公害研究所移転（岐阜市薮田）
57 年　4 月　公害研究所，環境部より生活環境部へ所管換
58 年　4 月　衛生研究所は衛生部より，公害研究所は生活環境部より衛生環境部へ所管換
平成　5 年　4 月　衛生研究所と公害研究所が組織統合により保健環境研究所に改称
8 年　4 月　保健環境研究所，衛生環境部より総務部に所管換
10 年　4 月　保健環境研究所，総務部より知事公室に所管換
11 年　4 月　薬事指導所を廃止
11 年　8 月　保健環境研究所新築移転（各務原市那加不動丘 1−1　健康科学センター内）
18 年　4 月　保健環境研究所，知事公室より総合企画部に所管換
19 年　4 月　健康科学担当を廃止
20 年　4 月　食品安全検査センターを新設
22 年　4 月　保健環境研究所，総合企画部より健康福祉部に所管換

2 運営概要

2.1 組 織



2.2 職 員 数

（平成 24 年 3 月 31 日現在）

区　分	定　数	実人員	実　人　員　内　訳							
			所　長	管理監	課　長	総務課	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査センター
事　務	4	4			1	3				
技　術	24	25	1				7	4	9	4
非常勤専門職	6	6					2		2	2
計	34	35	1		1	3	9	4	11	6

2.3　分掌事務

総 務 課

・職員の人事服務に関すること.
・予算の編成，執行及び決算に関すること.
・岐阜保健所との連絡調整等に関すること.
・岐阜県健康科学センター（共用部分）の活用に関すること.
・県有財産及び物品の維持管理に関すること.
・検査手数料の徴収に関すること.

保健科学部

・感染症発生動向調査事業（ウイルス及び細菌）の検査及び調査研究に関すること.
・インフルエンザの検査及び調査研究に関すること.
・ウイルス性食中毒の検査及び調査研究に関すること.
・感染症流行予測調査に関すること.
・つつが虫病等リケッチア感染症の血清学的検査及び調査研究に関すること.
・細菌性食中毒の検査及び調査研究に関すること.
・三類感染症の検査及び調査研究に関すること.
・レジオネラの検査及び調査研究に関すること.
・食品，薬品，飲料水等の細菌学的検査及び調査研究に関すること.
・クリプトスポリジウムの検査に関すること.
・バイオテロに関する検査に関すること.
・不明疾患の検査及び調査研究に関すること.
・保健所検査担当者の技術研修に関すること.

生活科学部

・医薬品に係る検査及び調査研究に関すること.
・医薬部外品に係る検査及び調査研究に関すること.
・化粧品に係る検査及び調査研究に関すること.
・医療機器に係る検査及び調査研究に関すること.
・医薬品等の生産技術及びＧＭＰバリデーションに関すること.
・薬物乱用防止に係る検査及び調査研究に関すること.
・家庭用品の検査及び調査研究に関すること.
・衛生動物及び昆虫の同定・駆除に係る調査研究に関すること.
・連携大学院の運営及び活用に関すること.

環境科学部

・環境放射能の測定及び調査研究に関すること.
・大気環境監視テレメータシステムの管理運営に関すること.
・大気環境測定車による環境大気の測定調査に関すること.
・ばい煙，粉じん等発生源についての調査研究に関すること.
・臭気対策技術の調査研究に関すること.
・国設酸性雨測定所の管理に関すること.
・東アジア酸性雨モニタリングネットワークに係る調査及び測定に関すること.
・地下水，河川水等の検査及び調査研究に関すること.
・未規制化学物質の測定調査に関すること.
・ダイオキシン類等微量化学物質の測定及び調査研究に関すること.
・一般廃棄物及び産業廃棄物の調査研究に関すること.

・廃棄物の処理技術，再資源化の調査研究に関すること.

食品安全検査センター

・食品中の残留農薬・残留抗菌剤等に係る検査及び調査研究に関すること.
・農薬の新規検査法の確立に関すること.
・食品添加物の検査及び調査研究に関すること.
・食品中のＰＣＢ・重金属に係る検査に関すること.
・食品中のアフラトキシンの検査に関すること.
・食品用器具及び容器包装の検査に関すること.
・食品に係る健康危機事案及び苦情食品の検査に関すること.
・保健所検査担当者の技術研修に関すること.

2.4　職員名簿

（平成 24 年 3 月 31 日現在）

部　課　名	補　職　名	氏　　名	備　　考
	所　　長	坂 井　至 通	24.3.31退職
総　務　課	課　　長	宮 部　昌 幸	24.3.31退職
	課 長 補 佐	川 島　真 澄	
	主　　査	江 尻　靖 子	24.4.1異動
	主　　任	西 岡　多 江	24.4.1異動
保健科学部	部長研究員兼部長	小 林　香 夫	
	主任専門研究員	後 藤　黄太郎	24.4.1異動
	同	白 木　　豊	
	専門研究員	葛 口　　剛	
	主任研究員	野 田　万希子	
生活科学部	部　　長	河 村　　博	
	主任専門研究員	多 田　裕 之	
	専門研究員	吉 田　一 郎	
	専門研究員	神 山　恵理奈	
環境科学部	部長研究員兼部長	西 川　治 光	24.3.31退職
	主任専門研究員	林　　弘一郎	
	同	岡　　正 人	
	専門研究員	岡　　隆 史	
	主任研究員	佐々木 正 人	
	同	三 原　利 之	
	同	鈴 木　崇 稔	
	同	金 森　信 厚	
	同	高 島　輝 男	
食品安全検査	センター長	大 塚　公 人	24.3.31退職
センター	主任専門研究員	中 村　昌 司	
	主任研究員	永 井　宏 幸	
	研　究　員	南 谷　臣 昭	
	主任研究員	宮 川　紀 子	休職，24.4.1異動
	研　究　員	門 倉　由紀子	休職
	衛生環境技術指導員	高 原　康 光	24.3.31退職
	衛生環境技術指導員	白 木　康 一	24.3.31退職
	衛生環境技術指導員	猿 渡　正 子	
	環境検査業務専門職	田 中　　耕	
	衛生検査業務専門職	菅 原　聖 子	24.3.31退職
	衛生検査業務専門職	安 藤　　良	24.3.31退職

2.5　歳入及び歳出

［歳　　入］　　単位：円

名　　称	収　入　額	備　　考
健康科学センター使用料	4,919,816	
財産貸付収入	627,666	
物品売払収入	1,575	
受託事業収入	30,181	
労働保険料等納付金	142,354	
雑入（目的外使用料管理費外）	6,378,218	
計	12,099,810	

［歳　　出］　　単位：円

款　項　目　節	決　算　額	備　　考
一般管理費	1,854,426	
財産管理費	1,895,250	
科学技術振興費	17,545,500	
医務費	33,067,473	
保健環境研究費	135,368,818	
保健所費	439,591	
食品衛生指導費	64,493,470	
生活衛生指導費	713,263	
感染症予防費	2,202,282	
薬務費	2,268,507	
水道費	569,235	
環境管理推進費	1,545,787	
公害対策費	44,363,898	
雇用促進費	3,992,989	
農業振興費	26,848	
主要農作物対策費	14,420	
畜産振興費	19,950	
計	310,381,707	

2.6　土地建物・施設

1)　土　地

所在地：各務原市那加不動丘 1-1

面　積：　12,320.63m^2

2)　建　物

	室　　名	面積（m^2）
屋上機械室		61.86
5　F	遺伝子解析実験室・安全実験室・血清研究室・無菌室 ウィルス研究室・培地調製室・細菌研究室・低温機器室 暗室・滅菌洗浄室・カンファレンスルーム	985.55
4　F	抗菌剤自然毒研究室・食品添加物研究室・薬品研究室 残留農薬研究室・バイオサイエンス研究室・遮光実験室 生活衛生研究室・生薬鑑定種子保存室・共通機器室 低温機器室・低温保存室・カンファレンスルーム	985.55
3　F	地球環境研究室・廃棄物研究室・蒸留水電気炉室 大気研究室・官能試験室・臭気研究室・共通機器室 恒温恒湿実験室・ドラフト室・カンファレンスルーム	985.55
2　F	水質研究室・揮発性物質前処理室・低温保存室 動物実験室・共通機器室	1,861.89
1　F	所長室・テレメーター室・微量化学物質分析室 環境放射能研究室・総務課事務室・会議室・図書室・書庫 情報コーナー	1,837.71
小　計		(6,718.11)
共通部分	ハイビジョンシアター・レファレンスホール	1,243.91
保健所棟		1,877.57
別棟（車庫）		135.22
小　計		(3,256.70)
合　計		9,974.81

3　研究及び検査の概要

3.1　保健科学部

3.1.1　調査研究

1）腸管出血性大腸菌の迅速・簡便な分子疫学解析法の検討に関する研究

（平成 21 年度～24 年度）

感染症や食中毒の発生時には，感染源・感染経路を解明するため，菌の遺伝子型を利用した疫学解析（分子疫学解析）が行われ，手法としてパルスフィールドゲル電気泳動法（PFGE 法）が一般に用いられている．しかし PFGE 法は，検査に数日を要すること，手技が煩雑で熟練を要すること，再現性がやや劣るなどの問題点があった．このため近年，PCR 法をベースとした迅速・簡便な方法が開発され，その有用性が検討されている．特に腸管出血性大腸菌感染症では，全国的な増加や広域流通食品による食中毒の発生が問題となるなど，分子疫学解析の重要性が増しており，より迅速・簡便でかつ解析能力の高い検査体制の整備が求められている．そこで，これらの新しい検査法や PFGE 法の改良法などいくつかの手法について，その有用性や問題点の比較を行うことを目的とした検討を開始した．

平成 23 年度は，細菌の DNA に存在する縦列反復塩基配列を利用した Multiple-Locus Variable-Number Tandem-Repeats Analysis（MLVA）法と IS-printing 法の結果解釈に役立てることを目的として，O157 菌株２株を試験管の系で継代培養することによって現れるパターンの変化を比較した．その結果，50 回継代で現れるパターンの変化は PFGE 法でバンド差２本以内，MLVA 法で９遺伝子座中１遺伝子座，IS 法で 36 か所中１ヶ所の違いであった．

2）ウイルス感染症における重複感染の実態調査と主因病原体解明に関する研究

（平成 21 年度～24 年度）

感染症の原因特定時に，複数の病原体を検出する事例がある．複数の病原体の検出事例の頻度，及び重複感染の起こる背景を把握するとともに，主因病原体を特定することを目的とし，多種のウイルスを検査対象として遺伝子検索を行い，重複感染の実態を調査した．平成 23 年度，県内 15 定点病院において採取された 116 検体について，ウイルス分離・同定試験と遺伝子検索を行ったところ，重複感染疑い事例は見られなかった．

ノロウイルスは感染力が強く，ごく少量のウイルス摂取でも発症し，激しい嘔吐・下痢等の食中毒症状を呈する．感染者の吐物及び便には大量のウイルスが含まれること，症状軽減後もしばらくはウイルスが排出されることから，感染者が気付かないうちに食材や施設を汚染する危険性は高く，ウイルスに感染していた調理従事者からの二次的感染が疑われる事例は少なくない．本研究では，食中毒事例及び集団胃腸炎事例発生時に調理施設・福祉施設の拭き取り検査などの汚染実態調査を積極的に行い，今後の食品衛生・感染症予防分野に役立てることを目的としている．平成 23 年度は，拭き取り 107 検体，食品 75 検体，及び水４検体について検査を行ったが，ノロウイルス遺伝子は検出されなかった．

3）厚生労働科学研究費補助金による研究事業

厚生労働科学研究費補助金による下記研究事業の研究班に研究協力者として参加し，調査研究を行った．

１．新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「新型薬剤耐性菌等に関する研究」　（平成 21 年度～23 年度）

２．新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業

「食品由来感染症調査における分子疫学手法に関する研究」　（平成 21 年度～23 年度）

3.1.2　行政検査

［ウイルス関係］

1）感染症流行予測調査

①ポリオ感染源調査

健康者の糞便 62 検体について，RD18s 細胞，及び HeLa 細胞を用いてウイルス分離を実施した．ポリオウイ

ルスは今回分離されず，ヒトパレコウイルス３型が４例，コクサッキーウイルス B3 型，B5 型，アデノウイルス５型がそれぞれ２例，コクサッキーウイルス A10 型，B1 型，アデノウイルス２型，ヒトパレコウイルス３型とコクサッキーウイルス B5 型の重複がそれぞれ１例ずつ分離・同定された．

②インフルエンザ感染源調査

ブタ鼻腔拭い 100 検体について，MDCK 細胞を用いてインフルエンザウイルス分離を実施した．全て分離陰性であった．

2) 不明疾患

本年度は集団かぜ７事例（県下７保健所初発），集団胃腸炎１事例について，咽頭うがい液 54 検体，糞便６検体のウイルス検索を実施した（表１）．

集団かぜ７事例中６事例・19 検体からインフルエンザウイルスＡ香港型を分離同定した．集団胃腸炎事例では糞便４検体からＡ群ロタウイルス遺伝子を検出した．

表１　ウイルス検索結果

受付 No	発生年月日 (受付年月日)	対象疾病	管轄保健所	検　体	数	分離・検出ウイルス	検出数
1	23．6．1	集団胃腸炎	西濃保健所	糞　　便	4	Ａ群ロタウイルス	3
	(23．6．9)				1	Ａ群ロタウイルス	1
	(23．6.16)				1	不検出	0
2	23.11.21	集団かぜ	恵那保健所	咽頭うがい液	7	インフルエンザウイルスＡ香港型	1
3	23.11.30	集団かぜ	飛騨保健所	咽頭うがい液	7	インフルエンザウイルスＡ香港型	2
4	23.12.12	集団かぜ	中濃保健所	咽頭うがい液	10	インフルエンザウイルスＡ香港型	2
5	23.12.20	集団かぜ	西濃保健所	咽頭うがい液	10	不検出	0
6	24．1.13	集団かぜ	東濃保健所	咽頭うがい液	4	インフルエンザウイルスＡ香港型	2
7	24．1.16	集団かぜ	関保健所	咽頭うがい液	8	インフルエンザウイルスＡ香港型	7
8	24．1.16	集団かぜ	岐阜保健所	咽頭うがい液	8	インフルエンザウイルスＡ香港型	5
合　　計					60		23

3) 結核・感染症発生動向調査事業におけるウイルス検査

1．当該事業のうち，ウイルス検査及び検査情報の提供，また，毎月開催される感染症サーベイランス解析小委員会に参画した．検査結果は，地方感染症情報センター，各保健所，医療機関に報告し，ウイルスが分離，同定されたときは国立感染症研究所に報告した．

2．患者数 67 名，検体 116 件について検査した結果，インフルエンザウイルス AH1pdm が 12 検体，エンテロウイルス 71 型が 12 株，エコーウイルス６型が７株，インフルエンザウイルス A 香港型が４検体，アデノウイルス２型，ライノウイルス，インフルエンザウイルス B 型がそれぞれ１株分離・同定された．

また，遺伝子検査において A 群ロタウイルスが１検体，ノロウイルス GⅡが８検体，デングウイルス３型が２検体，インフルエンザウイルス AH1pdm が 27 検体（14 人分），インフルエンザウイルス A 香港型が８検体（４人分），インフルエンザウイルス B 型が２検体（１人分）から検出された．

3．４類感染症（ツツガムシ病疑い）の６検体（２人分）について，遺伝子検査および蛍光抗体法による抗体価測定を実施した．結果は全検体陰性であった．

4) ウイルス性食中毒・集団胃腸炎発生原因検査

ノロウイルス遺伝子検出を RT-PCR 法にて実施した．確認検査は TaqMan リアルタイム PCR 法を用いた(表２)．また，ノロウイルスが検出されなかった２事例に対し，他の食中毒原因ウイルスの遺伝子検出を実施した(表２；受付 No.21，22)．

表２　ウイルス性食中毒検査状況

受付No	発生年月日	管轄保健所	検査材料	検体数	RT-PCR検出数	確認検査陽性数
1	23．4．4	東濃保健所	PCR産物	12		12
2	23．4．7	中濃保健所	PCR産物	7		7
			拭き取り	7	0	
			食　品	4	0	
3	23．4．8	岐阜保健所	PCR産物	2		2
		本巣・山県センター	拭き取り	10	0	
			食　品	2	0	
			井戸水	1	0	
4	23.11．4	岐阜保健所	PCR産物	13		13
			拭き取り	13	0	
			井戸水	1	0	
5	23.11.15	岐阜保健所	PCR産物	8		8
		本巣・山県センター	拭き取り	7	0	
			食　品	4	0	
			井戸水	1	0	
6	23.11.29	岐阜保健所	PCR産物	8		8
			拭き取り	12	0	
			食　品	2	0	
7	23.12.26	岐阜保健所	PCR産物	4		4
		西濃保健所				
		飛騨保健所				
8	23.12.27	岐阜保健所	PCR産物	27		27
			拭き取り	10	0	
			食　品	34	0	
9	24．1．9	飛騨保健所	PCR産物	1		1
			食　品	3	0	
10	24．1．9	中濃保健所	PCR産物	4		4
		東濃保健所				
11	24．1.30	恵那保健所	PCR産物	8		8
			拭き取り	10	0	
			水	1	0	
12	24．2.14	岐阜保健所	PCR産物	7		7
			拭き取り	18	0	
			食　品	17	0	
13	24．2.19	郡上センター	PCR産物	6		6
14	24．2.22	郡上センター	搬入無			
15	24．2.22	西濃保健所	PCR産物	6		3
16	24．2.19	本巣・山県センター	PCR産物	5		5
17	24．2.25	関保健所	PCR産物	12		12
			拭き取り	5	0	
			食　品	7	0	
18	24．2.27	中濃保健所	PCR産物	5		5

受付No	発生年月日	管轄保健所	検査材料	検体数	RT-PCR検出数	確認検査陽性数
19	24．3．3	郡上センター	PCR産物	4		4
			吐　物	1	1	1
			拭き取り	10	0	
			食　品	2	0	
20	24．3.13	中濃保健所	PCR産物	9		9
			拭き取り	5	0	
21※	24．3.14	岐阜保健所	抽出RNA	14	0	
22#	24．3.10	本巣・山県センター	抽出RNA	11	0	
23	24．3.22	本巣・山県センター	PCR産物	15		15
小　　計			PCR産物	163		160
			抽出RNA	25	0	
			吐　物	1	1	1
			拭き取り	107	0	
			食　品	75	0	
			水	4	0	
合　　計				375	1	161

※ ノロウイルス陰性事例，他のウイルスも不検出

＃ ノロウイルス陰性事例，後に食中毒原因細菌検出

5) 新型インフルエンザ検査（重症サーベイランス）

2009 年に大流行した新型インフルエンザについて，厚生労働省からの通知に基づく「インフルエンザ重症サーベイランス」による遺伝子検査およびウイルス分離を行った．１人分２検体について検査を行ったが，インフルエンザウイルス遺伝子は検出されず，分離もできなかった．

6) 新型インフルエンザにおける抗インフルエンザ薬剤耐性検査

国立感染症研究所からの依頼に基づいた「新型インフルエンザの抗インフルエンザ薬剤耐性スクリーニング検査」については，今年度インフルエンザウイルス(H1N1)2009 が検出されなかったため，実施できなかった．

7) 麻疹遺伝子検査

厚生労働省の通知に基づき，麻疹の遺伝子全数検査を行った．12 人分 34 検体について麻疹および風疹遺伝子の検出を行ったところ，３人分４検体から麻疹ウイルス遺伝子を検出した．

［細菌関係］

1) 細菌性食中毒

保健所からの検査依頼事例（疑い含む）を表３に示した．

表３　細菌性食中毒（疑い含む）検査状況

事例 No.	発生 年月日	保健所	菌名 または 検査材料	菌株 (検体) 数	検　査　項　目
1	23．7.24	岐阜	黄色ブドウ球菌	22	エンテロトキシン遺伝子の検出 コアグラーゼ型別
2,3	23．7.28	岐阜	カンピロバクター	5	同定 パルスフィールドゲル電気泳動
4	23．8．5	岐阜	サルモネラ	3	同定，血清型別
5	23．8.11	岐阜 本巣・山県ｾﾝﾀｰ	食品	10	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの検出
		岐阜 東濃 西濃	黄色ブドウ球菌	33	エンテロトキシン遺伝子の検出 コアグラーゼ型別
6	23．8.23	東濃	ビブリオ属菌	5	同定，コレラ毒素遺伝子検出
		恵那	食品	1	クドア・セプテンプンクタータの検出 （顕微鏡検査による定量，遺伝子検出）
7	23.10．1	岐阜	カンピロバクター	3	同定
8	23.10.16	岐阜	サルモネラ	1	同定，血清型別
9	23.10.17	西濃	サルモネラ	3	同定，血清型別
10	23.10.17	東濃	サルモネラ	6	同定，血清型別
			セレウス菌	2	嘔吐毒合成遺伝子検出，下痢毒の検出
11	23.11.22	西濃	カンピロバクター	18	同定 パルスフィールドゲル電気泳動
12	23.12．7	岐阜 本巣・山県ｾﾝﾀｰ	食品 吐物	4 1	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの検出
13	23.12.17	東濃	カンピロバクター	9	同定
14	24．2.12	岐阜市	食品	5	クドア・セプテンプンクタータの検出 （顕微鏡検査による定量，遺伝子検出）
15	24．2.13	関	サルモネラ	1	同定，血清型別
16	24．2.18	岐阜	カンピロバクター	2	同定
17	24．3.10	岐阜	カンピロバクター	2	同定
18	24．3.14	岐阜	食品	1	クドア・セプテンプンクタータの検出 （顕微鏡検査による定量，遺伝子検出）
合　　計				137	

2) レジオネラ属菌実態調査

県内入浴施設等の浴槽水 25 検体由来のレジオネラ属菌 97 株について，同定検査及び血清型別検査を実施した．その結果，23 検体から *Legionella pneumophila* が検出された．血清型は，血清群１（７検体），血清群５（６検体），及び血清群６（５検体）が多かった．

3) レジオネラ症患者発生に伴う検査

レジオネラ症患者発生に伴う保健所の調査において，患者利用施設の浴槽水等から検出されたレジオネラ属菌 79 株（６事例）について同定検査及び血清型別検査を実施した．

4) 三類感染症の検査

赤痢菌１株について同定検査及び血清型別検査，また腸管出血性大腸菌 72 株について同定検査，血清型別検

査，及び志賀毒素検査を実施した．血清型別検査の結果は，赤痢菌が *S. sonnei*，腸管出血性大腸菌は O26:H11 が 36 株，O157:H7 が 31 株，また O26:HUT，O103:H2，O115:H10，O145:H-，及び O165:H-が各１株であった．このうち保育園における集団感染事例（2 事例）由来の腸管出血性大腸菌 O26:H11 及び O157:H7 については，パルスフィールドゲル電気泳動による疫学解析を行った．

5）結核・感染症発生動向調査事業による細菌検査

感染性胃腸炎１検体の検査を実施した．また，ボツリヌス症４検体の検査を国立感染症研究所へ依頼した結果，ボツリヌス毒素は検出されなかった．

6）結核菌の保存

集団感染の疑いで保健所から RFLP 検査の依頼があった２件，４株の結核菌について，（財）結核研究所への検査依頼及び菌株の保存を行った．

7）無菌試験

医療機器一斉監視指導に係わる収去検査において，コンタクトレンズ３検体及びカテーテル３検体の無菌試験を実施した．

8）依頼に基づく試験

保健所から協力依頼があった試験について，セレウリドバイオアッセイを 48 検体，大腸菌群試験法で分離された菌株の菌種同定を 11 株実施した．

3.2　生活科学部

3.2.1　調査研究

1）有毒植物誤食中毒における原因物質究明マニュアル構築に関する研究

（平成 23 年度～24 年度）

山間部が多い本県は，山菜，キノコの宝庫であり，これらの採取時に誤って有毒植物を食し中毒となる事案が散発している．当該中毒時には，速やかに原因植物を特定し対応しなければ，生命に関わることも懸念される．

有毒植物等を特定するための検査には，標準物質の入手が不可欠であり，これらを事前に整備しておく必要がある．平成 23 年度は入手可能な標準品を整備し，LC-MS/MS による分析条件の確立及び独自マススペクトルのデータベースを作成した．本データベースは，将来的には他の公的検査機関と連携し，相互に利用できれば，標準品がなくても迅速に原因植物等の究明が可能となる．平成 24 年度では，より迅速に原因植物等を特定できるように，多くの原因物質を一斉に試験できる検査法を確立し，速やかに原因植物を特定できるようにする．

2）レジオネラ属菌の汚染状況把握・迅速検査法及び殺菌除去方法に関する研究

（平成 23 年度～26 年度）

レジオネラ症の起因菌であるレジオネラ属菌は，浴槽水などの人工環境水中に高率に生存しており，有効な殺菌除去方法が求められている．入浴施設におけるレジオネラ属菌対策は，設備構造と維持管理の両面からの対策が必須とされており，日常的には次亜塩素酸ナトリウムによる塩素消毒が行われているが，塩素消毒には，残留塩素濃度維持の不安定性，水質による殺菌効果の低下，臭気の発生などの問題点がある．そこで，入浴施設の維持管理指導において実務上参考となるような，塩素消毒殺菌効果に及ぼす水質の影響等に関するデータの作成に着手した．平成 23 年度は，次亜塩素酸ナトリウムによるレジオネラ属菌に対する殺菌効果を評価するための評価法について検討を行い，薬剤濃度，水質等の影響を調べた．

3）連携大学院

岐阜薬科大学及び保健環境研究所との連携大学院の事業として，本研究所において岐阜薬科大学からは講師として微生物学研究室の森裕志教授，衛生学研究室の中西剛准教授，分子生物学研究室の古川昭栄教授，薬品

化学研究室の佐治木弘尚教授をお招きし,「微生物について」,「薬物と化学物質について」,「食品と疫学について」,「環境汚染について」の４課題をテーマとして，７月，１０月,１２月，２月の４回に亘って学官連携ゼミを開催した． また，岐阜薬科大学において「環境衛生学」,「免疫微生物学」,「薬品分析化学」の内容について本研究所から職員を派遣して大学院生を対象とした連携大学院講義を６月，７月,１０月，１１月の４回に亘って実施した.

3.2.2　行政検査

［薬品関係］

1）医薬品等一斉取締における規格試験

1.溶出試験

ドキサゾシンメシル酸塩を含有する医療用医薬品について， 県内の医薬品卸売販売業者から収去した錠剤 22 製品（先発医薬品４製品および後発医薬品 18 製品）の溶出試験を実施した．その結果，全て規格に適合していた.

2.医薬品

県内製造医薬品の貼付剤２検体（承認規格試験延べ 15 項目）について収去検査を実施した．その検査結果は，２検体とも不適合（不適項目は２項目と１項目）であった.

2）医療機器一斉取締における規格試験

県内で製造される医療機器で，ソフトコンタクトレンズ２検体（2 項目），ディスポーザブルカテーテル３検体（23 項目）について収去検査を実施した．その結果，全て規格に適合していた.

3）無承認無許可医薬品に係る医薬品成分等の試験

1.買い上げ調査

いわゆる健康食品と称する無承認無許可医薬品の監視として， 県内のドラッグストアより買上された痩身目的の健康食品 10 製品（12 検体）及び滋養強壮目的の健康食品 10 製品（12 検体）について，LC-MS/MS により検査を実施した．痩身目的の検体については，マジンドール，フェンフルラミン，オーリスタット，ヒドロクロロチアジド等 16 成分の検査（定量試験延べ 192 項目）を，滋養強壮目的の検体については，ヨヒンビン，シルデナフィル，バルデナフィル，タダラフィル等 10 成分の検査（定量試験延べ 120 項目）を実施したところ，センノシド（４検体）以外には全て検出されなかった.

2.苦情製品調査

県民から苦情のあった健康茶１検体について,医薬品成分の検査(定量試験延べ２項目)を実施したところ,センノシドが検出された.

4）大麻草の有毒成分等の試験

県内大麻草栽培者から，種子採取用に残された大麻草 300 検体を収去し，幻覚成分であるΔ9-テトラヒドロカンナビノール及び幻覚作用を有しないカンナビジオール（定量試験 600 項目）の試験を実施した.

5）登録試験検査機関における外部精度管理

アセトアミノフェン錠（200 ㎎）について，含量均一性試験２回，確認試験２回を実施した.

［生活衛生関係］

1）家庭用品試買検査

県内で販売されている繊維製品，家庭用洗浄剤など家庭用品 54 検体について，有害物質の含有量試験等延べ 66 項目の検査を実施した（表４）．その結果，１検体（乳幼児用寝具）が基準不適合であった.

表４　家庭用品検査内訳

検 体		検体数	検査項目	延べ項目数
乳幼児用繊維製品	よだれ掛け	8	ホルムアルデヒド	40
	下着	10		
	寝衣	8		
	くつした	6		
	中衣	3		
	外衣	2		
	帽子	2		
	寝具	1		
乳幼児用以外の繊維製品	くつした	4	ホルムアルデヒド	10
	下着	5		
	寝衣	1		
家庭用洗浄剤		2	水酸化カリウム又は水酸化ナトリウム，容器試験（漏水試験，落下試験，耐アルカリ性試験，圧縮変形試験）	10
家庭用エアゾル製品		2	メタノール，テトラクロロエチレン，トリクロロエチレン	6
計		54	計	66

2）衛生害虫関係の検査

県内保健所からの依頼を受けて衛生害虫の鑑別を行った（３件）．その結果，それぞれの害虫はケブトヒラタキクイムシ，ノシメマダラメイガ，アルファルファタコゾウムシであると同定された．

3.3　環境科学部

3.3.1　調査研究

1）健康に影響する大気汚染物質等を輸送する気流の流跡線解析に関する研究

（平成 23 年度～24 年度）

光化学オキシダントが高濃度になる測定局をグループ分けすると，西から(羽島・大垣南部・大垣中央)，(岐阜南部・岐阜中央・岐阜北部)，(各務原)，(美濃加茂)，(多治見市笠原・中津川)という順序になって，伊勢湾からの海風のルート分けと一致しており，光化学オキシダント他の移流や気温上昇と関連があると考えられる．また，「夕方の交通量増加（自動車排出ガス増加）によると考えられる窒素酸化物濃度の急上昇に合わせて，光化学オキシダント濃度が急激に減少する」傾向が明瞭な測定局があり，光化学オキシダント濃度，窒素酸化物濃度等の大気汚染物質を総合的に検討する必要があると考えられる．

浮遊粒子状物質については，その特徴を把握するために年間を通じた浮遊粒子状物質の採取を行い，春季の浮遊粒子状物質を用いて水溶性無機成分の分析方法を決定した．その分析結果から，浮遊粒子状物質の約５０%が大気中で二次的に生成する硫酸アンモニウムであることが分かった．後方流跡線解析の結果より，この硫酸アンモニウムは，二酸化硫黄の大規模な発生源である大陸沿岸部からの，大規模な移流による影響を受けている可能性も考えられる．

2）下水汚泥等から回収されたリン資源の有効利用に関する研究(平成 23 年度環境省環境研究総合推進費補助金)

（平成 22 年度～24 年度）

世界的なリン資源の逼迫や主要産出国の輸出制限により，下水汚泥をはじめとする国内未利用・低利用資源からのリン回収・活用が強く求められている．このような状況下で，岐阜市の下水処理施設でもリンの資源としての回収が始まっており，この回収物を工業用などさらに付加価値が高い用途への利用が可能になればリンのリサ

イクルは飛躍的に増加するものと期待される．そこで，本研究ではリン資源の有効利用，特に環境浄化材料への応用を目的として，岐阜市北部プラントの協力を得て下水汚泥焼却灰から回収されたリン酸塩化合物の具体的な利用を産学官共同研究として平成 22 年度から実施している．平成 23 年度は回収されたリン酸塩化合物の組成・形態の変動幅を調べるとともに，VOC（揮発性有機化合物）ガス分解材料としての触媒特性及び染料溶液の吸着脱色性能を検討した．

3) 岐阜県内の公共用水域における環境汚染物質の特定と現状把握に関する研究
～河川等における油流出事故時の流出油類の判別に関する研究～

（平成 23 年度～24 年度）

河川等の公共用水域における油の流出事故は，毎年，水質汚濁事故の 70～80%を占め 40～80 件発生しているが，原因の明らかでない事案が多数あり，特に薄い油膜については，油種の判別が困難となっている．これらの油種を判別することができれば，原因者の特定や対策に関して有用な情報を得ることができる．そこで，ガスクロマトグラフ質量分析計を用いて測定を行ったところ，少量の油であっても組成及びその経時変化から油種の絞りこみが可能であることが分かってきた．また，河川に流出した少量の油の効率的な回収方法の検討を行っている．

3.3.2　委託調査

1) 東アジア酸性雨モニタリング調査（環境省委託）

伊自良湖が東アジア酸性雨モニタリングネットワークの生態影響調査地点に指定され，陸水調査，大気環境調査，降下物調査及び土壌調査を実施した（表５）．

表５　調査項目等の概要

調査名		地 点	回　数	調　　査　　項　　目	延項目数
陸水	湖沼水	2	年4回	pH，EC，アルカリ度，Na^+，K^+，Ca^{2+}，Mg^{2+}，SO_4^{2-}，NO_3^-，Cl^-，Chl-a 等	680
	河川	4			
湿性降下物		1	1週間毎	pH，EC，SO_4^{2-}，NO_3^-，Cl^-，NH_4^+，K^+，Na^+，Ca^{2+}，Mg^{2+}，雨量	572
乾性降下物		1	毎時測定	NO，NO_2，SO_2，O_3，SPM 気象データ（気温，湿度，風向，風速，日射量）	1,095
乾性降下物 （ﾌｨﾙﾀｰﾊﾟｯｸ法）		1	2週間毎	NH_3，HNO_3，HCl，SO_2，SO_4^{2-}，NO_3^-，Cl^-，NH_4^+，K^+，Na^+，Ca^{2+}，Mg^{2+} 等	312
土壌		2	1回	水分含量，ｐH，交換性陽イオン（塩基性）， 交換性酸度，交換性陽イオン（酸性）	880

2) 化学物質環境実態調査（環境省委託）

環境中に残留している可能性のある化学物質の挙動及び実態を把握するため，表６に示す調査を実施した．

表６　化学物質環境実態調査の概要

調　査　名	調査地点	調　　査　　項　　目
モニタリング調査（POPs条約対象物質等の経年的なモニタリング調査）	各務原市 （岐阜県保健環境研究所）	POPs等25物質群 *N,N'*-ジメチルホルムアミド

3) 環境放射能水準調査（文部科学省委託）

環境中における人工放射性物質の蓄積状況の把握及び住民の被曝線量の推定を主な目的として，平成 2 年度から調査を実施している．平成 23 年度における環境放射能測定の概要は表７のとおりである．また，東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故（福島原発事故）に伴うモニタリング強化（緊急時の環境放射能測定）の概要は表８のとおりである．4 月分から 9 月分の月間降下物試料および大気浮遊塵試料，平成 23 年 4 月 18 日

の降下物試料から福島原発事故の影響と考えられる放射性核種が検出された．核種分析において，福島原発事故に由来すると考えられる放射能が検出されたものの，健康に影響があるレベルではなかった．

表７　環境放射能水準調査内訳

事　業　項　目	測定地点数	測　定　対　象	延測定回数	備　考
全ベータ放射能測定調査	1	雨水	45	降雨毎
核種分析調査	7	大気浮遊じん，降下物，土壌 陸水(蛇口水)，精米，野菜，茶， 牛乳	33	野菜は大根と ホウレン草
モニタリングポストによる 空間線量率調査	1	大気（ガンマ線）	366 （連続）	

表８　環境放射能水準調査内訳（緊急時）

事　業　項　目	測定地点数	測　定　対　象	延測定回数	備　考
核種分析調査	1	降下物，陸水(蛇口水)	542	4/1-12/27
モニタリングポストによる 空間線量率調査	1	大気（ガンマ線）	1,755 （連続）	当初1時間毎, 段階的に縮減
サーベイメータによる空間 線量率調査	1	大気（ガンマ線）	199	6/15-12/27:毎日 1月以降:毎月1回

4）東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質測定

東京電力福島第一原子力発電所事故の県内への放射能影響を評価するため，核種分析を実施した（表９）．

表９　東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質測定の概要

調　査　名	延検体数
水浴場の放射性物質の検査	2
稲わらにおける放射性物質の測定	6
県内産堆肥の放射性物質の検査	16
水道水の放射性物質の検査	185
薪における放射性物質の測定	4

3.3.3　行政検査

［大気関係］

1）アスベスト建材除去作業現場

平成 18 年度から飛散性及び非飛散性アスベスト建材除去作業現場の実態調査を実施して，周辺環境への影響を監視している．

平成 23 年度は，県内の飛散性アスベスト建材除去作業現場における大気中アスベスト濃度を測定した．飛散性アスベスト建材除去作業現場での濃度基準は定められていないが，参考としてアスベスト発生施設の敷地境界基準値と比較するならば，2 地点ともそれ未満であった（表 10）．

表 10　アスベスト実態調査内訳

実　施　区　分	作業現場数	測定地点数 (延検体数)
飛散性アスベスト建材除去作業現場	1	2

2) 大気環境監視テレメータシステム

県下 18 地点(平成 23 年 12 月 13 日から 17 地点)の大気環境自動測定局（自動車排出ガス測定局 4 局を含む）において常時監視を行っている(表 11）．平成 23 年度の環境基準達成状況は，二酸化硫黄及び二酸化窒素は全ての測定局において基準を達成したが，光化学オキシダントは，前年度と同様に 12 局全てで環境基準値を超過した．これら各測定局の毎時データは，インターネットで公開している．

表 11　大気環境測定局及び測定項目一覧表

地域	測定局名称	測定項目									
		二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	窒素酸化物		光化学オキシダント	一酸化炭素	炭化水素		微小粒子状物質	風向風速
				一酸化窒素	二酸化窒素			非ﾒﾀﾝ	メタン		
岐阜	岐阜中央	○	○	○	○	○				△※2	○
	岐阜南部	○	○	○	○	○		○	○	○	
	岐阜北部	○	○	○	○	○					
	岐阜明徳自排		○	○	○		○				
	各務原	○	○	○	○	○					○
西濃・羽島	大垣中央	○	○	○	○	○					○
	大垣南部	○	○	○	○	○					○
	大垣自排		○	○	○						○
	羽島	○	○	○	○	○					○
中濃	美濃可茂	○	○	○	○	○					○
	可児自排		○	○	○						○
東濃	土岐※1	●	●	●	●						●
	土岐自排		○	○	○					△※3	○
	瑞浪	○	○								○
	笠原	○	○	○	○	○					○
	中津川	○	○	△※4	△※4	○					○
飛騨	高山	○	○	○	○	○					○
	乗鞍	○	○	○	○	○					○

※1：平成23年12月13日，土岐測定局廃止.　　※2：平成23年10月21日，測定開始.

※3：平成23年11月10日，測定開始.　　※4：平成23年11月2日，測定開始.

3) 大気環境測定車による調査

大気環境測定車「あおぞら号」により，大気環境自動測定局未設置地域４地点における一般環境調査（表 12）と，国道の周辺１地点における交通公害調査（表 13）を実施した.乗鞍スカイライン（畳平）については，マイカー規制実施に伴う大気環境調査として実施している．光化学オキシダントは，中濃総合庁舎，関市役所及び揖斐川町放送通信センターにおいて環境基準値（60ppb）を超過した.

表 12　一般環境調査地点

地域	調査地点
中濃	中濃総合庁舎
	関市役所
東濃	恵那文化センター
飛騨	乗鞍スカイライン(畳平)
４地点（４市）	

表 13　交通公害調査地点

道路名	調査地点
国道303号	揖斐川町放送通信センター
１路線　１地点	

［水質関係］

1）水質環境基準監視測定（地下水）

水質汚濁防止法第 16 条 1 項の規定による水質測定計画に基づいて環境基準項目の測定(延べ項目数：1,571)を実施した結果，基準値を超過した件数は，地下水のメッシュ調査（全項目）47 地点において 1 件，メッシュ調査（自然由来項目）25 地点において 0 件，モニタリング調査 52 地点において 46 件であった（表 14）．

表 14　地下水の水質基準監視測定の概要

振興局／事務所	メッシュ調査（全項目）地点数	メッシュ調査（自然由来項目）地点数	モニタリング調査地点数	延項目数
岐阜振興局	6	3	9	201
西濃振興局	6	0	6	168
揖斐事務所	2	0	0	54
中濃振興局	5	8	9	224
中濃事務所	7	6	8	257
東濃振興局	6	0	12	174
恵那事務所	7	5	3	242
飛騨振興局	8	3	5	251
合　計	47	25	52	1,571

2）土壌および地下水の汚染事故による調査

各務原市，安八町，垂井町，飛騨市及び中津川市におけるカドミウム，砒素及びふっ素による過去の土壌・地下水汚染事故の追跡調査（詳細調査）として，周辺の河川水や地下水の水質検査(延件数：60 件，延項目数：60)を実施した結果，全て環境基準値未満であった（表 15）．

表 15　土壌・地下水汚染事故に伴う調査の概要

振興局／事務所	市町村	件数	延項目数	測　定　項　目
岐阜振興局	各務原市	1	1	カドミウム
西濃振興局	安八町	42	42	砒素
	垂井町	16	16	砒素
恵那事務所	中津川市	1	1	ふっ素
合　計		60	60	

3）フェロシルトによる土壌汚染事故に伴う地下水・土壌調査

中津川市，本巣市等におけるフェロシルト埋設地周辺の河川水・地下水調査及び土壌の溶出試験(延件数：19 件，延項目数：38)を実施した結果，全て環境基準値未満であった．

4）事業場排水を原因とする河川水汚染に関する河川水及び事業場排水の水質調査

羽島市及び笠松町を流れる逆川の河川定点において検出されたテトラクロロエチレンの排出源を明らかにするため，河川水および事業場排水の水質調査(延件数：30 件，延項目数：30)を実施した結果，テトラクロロエチレンの排出源は逆川上流にある事業場からの排水であった．

［廃棄物関係］

1）リサイクル認定製品調査

岐阜県リサイクル認定製品について，社会的信頼性の確保に必要な安全性を確認するため，既認定製品及び新規認定製品についての検査を実施した結果（表 16），全ての製品が環境基準を満たしていた．

表 16　リサイクル認定製品の調査概要

製品の種類	検　体　数	延項目数
既認定製品	42	425
新規認定製品	14	140
合　　計	56	565

［微量化学物質関係］

1）ダイオキシン類モニタリング調査

ダイオキシン類対策特別措置法第 26 条第 1 項の規定に基づき，県内の環境大気，河川水，地下水，河川底質，発生源周辺土壌中のダイオキシン類を測定した結果，全てが環境基準値未満であった（表 17）．

表 17　ダイオキシン類モニタリング調査

調査内容		地点数	検体数
一般調査	環境大気	3	6
	河川水	4	4
	河川底質	4	4
	地下水	3	3
	発生源周辺土壌	6	6
追跡調査	河川水	2	8
	河川底質	2	2
合　　計		24	33

3.4　食品安全検査センター

3.4.1　行政検査

1）残留合成抗菌剤

国内で生産されている鶏卵 11 検体（県内産９検体，県外産２検体）について，サルファ剤５種（スルファチアゾール，スルファメラジン，スルファジミジン，スルファモノメトキシン，スルファジメトキシン）とトリメトプリムの残留検査を実施した結果，いずれも不検出であった．

2）重金属検査

県内で生産された玄米３検体についてカドミウムの検査を行った．その結果，不検出(１検体)，0.05ppm(１検体)，0.15ppm（1 検体）であり，成分規格基準（0.4ppm 未満）に適合していた．

3）残留農薬検査

平成 23 年度は県内産農産物 64 検体，県外産農産物９検体の計 73 検体について延べ 14,746 項目の検査を実施した．その結果，いずれの検体からも基準値以上の農薬は検出されなかった（表 18）．

表 18　残留農薬の検査結果

試　料　名	検体数	検査項目数	検 査 結 果
県内産野菜	48	9,696	ｲﾌﾟﾛｼﾞｵﾝ(0.054ppm/1検体)，ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.006～0.035ppm/3検体)，ｴｽﾌﾟﾛｶﾙﾌﾞ(0.002ppm/1検体)，ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ(0.047ppm/2検体)，ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ(0.017～0.10ppm/2検体)，ｸﾛﾛﾀﾛﾆﾙ(0.018ppm/1検体)，ｼｱｿﾞﾌｧﾐﾄﾞ(0.019ppm/1検体)，ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ(0.013ppm/1検体)，ｼﾗﾌﾙｵﾌｪﾝ(0.11ppm/1検体)，ﾁｱﾒﾄｷｻﾑ(0.042ppm/1検体)，ﾄﾘｸﾛﾙﾎﾝ(0.019ppm/1検体)，ﾄﾘﾌﾙﾐｿﾞｰﾙ(0.013ppm/1検体)，ﾌｪﾝﾋﾟﾛｷｼﾒｰﾄ(0.075ppm/1検体)，ﾌﾙﾌｪﾉｸｽﾛﾝ(0.013ppm/1検体)，ﾌﾞﾛｼﾐﾄﾞﾝ(0.02～0.10ppm/2検体)，ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ(0.006～0.2ppm/2検体)，ﾙﾌｪﾇﾛﾝ (0.019～0.021ppm/2検体)
県内産果実	13	2,626	ｸﾚｿｷｼﾑﾒﾁﾙ(0.003～0.018ppm/2検体)，ｼﾞﾌｪﾉｺﾅｿﾞｰﾙ(0.097ppm/1検体)，ﾃﾄﾗｼﾞﾎﾝ(0.003～0.019ppm/2検体)，ﾃﾌﾞｺﾅｿﾞｰﾙ(0.031ppm/1検体)，ﾄﾘﾌﾛｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.007ppm/1検体)，ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.006ppm/1検体)，ﾌｪﾝﾌﾟﾛﾊﾞﾄﾘﾝ(0.007ppm/1検体)，ﾌｪﾝﾍｷｻﾐﾄﾞ(0.016ppm/1検体)，ﾌﾙﾊﾞﾘﾈｰﾄ(0.013ppm/1検体)，ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ(0.017ppm/1検体)
県内産穀類	1	202	全て不検出
県内産　茶	2	404	全て不検出
県外産農産物	9	1,818	ｴﾄﾌｪﾝﾌﾟﾛｯｸｽ(0.020ppm/1検体)，ｸﾛﾛﾀﾛﾆﾙ(0.16ppm/1検体)，ﾃﾌﾙﾍﾞﾝｽﾞﾛﾝ(0.048ppm/1検体)，ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ(0.023ppm/1検体)

4) PCB 検査

PCB 汚染として最も重要なものとして考えられる食品のうち，牛乳２検体について検査を実施した．測定結果はすべて不検出であった（表 19）．

表 19　食品中に残留する PCB

食　品　名	検　体　数	検　査　結　果	暫定的規制値
牛　乳	2	不検出	0.1ppm

5) 陶磁器製器具の規格試験

県内産陶磁器製品 41 検体についてカドミウム及び鉛の溶出試験を行った結果，１検体から基準を超える鉛が検出された（表 20）．

表 20　陶磁器の規格及び検査結果

区　　分		規　　格		不適/検体		
		鉛	カドミウム		鉛	カドミウム
深形のもの	容量1.1ç以上	1ppm	0.25ppm	0／ 1	不検出	不検出
(深さ2.5 cm以上)	容量1.1ç未満	2ppm	0.5ppm	1／27	不検出～6.6ppm	不検出
浅形のもの(深さ2.5 cm未満)		8μg/cm^2	0.7μg/cm^2	0／13	不検出～6.2ppm	不検出～0.12ppm

6) 輸入食品の検査

1．残留農薬検査

野菜 35 検体，果実６検体，豆類 18 検体，熱帯産果実 10 検体，かんきつ類果実 10 検体，穀類４検体，種実類３検体，茶１検体の計 87 検体について延べ 17,574 項目の残留農薬の検査を実施した．全ての検体から基準値以上の農薬は検出されなかった(表 21)．

表 21　残留農薬の検査結果

試料名	検体数	検査項目数	検査結果	試料名	検体数	検査項目数	検査結果
アスパラガス	3	606	不検出	セロリ	1	202	ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.026ppm/1検体), ｸﾛﾛﾀﾛﾆﾙ(0.096ppm/1検体)
アボカド	4	808	不検出				ｼﾞｸﾛﾗﾝ(0.044ppm/1検体), ﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ(0.063ppm/1検体)
いんげん	4	808	ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.008ppm/1検体),ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ(0.050ppm/1検体)	そらまめ	1	202	不検出
				たまねぎ	2	404	不検出
烏龍茶	1	202	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ(0.012ppm/1検体), ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.010ppm/1検体),ｼﾞｺﾎｰﾙ(0.021ppm/1検体)	大豆	5	1,010	2.4-D (0.024ppm/1検体) , ﾃﾄﾗｺﾅｿﾞｰﾙ(0.003ppm/1検体)
えだまめ	5	1,010	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ(0.007ppm/1検体), ｲﾝﾄﾞｷｻｶﾙﾌﾞ(0.006ppm/1検体), ｼﾍﾟﾙﾒﾄﾘﾝ(0.064～0.076ppm/2検体), ﾐｸﾛﾌﾞﾀﾆﾙ(0.014ppm/1検体)	とうもろこし	2	404	不検出
				にんにく	5	1,010	不検出
				にんにくの芽	2	404	不検出
				ﾈｰﾌﾞﾙｵﾚﾝｼﾞ	1	202	ｲﾌﾟﾛﾍﾞﾝﾎｽ(0.005ppm/検体) ,ｲﾏｻﾞﾘﾙ(1.0ppm/1検体), ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ(0.069ppm/1検体), ﾁｱﾍﾞﾝﾀﾞｿﾞｰﾙ(0.06ppm/1検体)
エリンギ	1	202	不検出				
オレンジ	3	606	ｲﾏｻﾞﾘﾙ(0.60～1.1ppm/3検体), ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ(0.020～0.036ppm/2検体) ,ｼﾏｼﾞﾝ (0.004ppm/1検体), ﾁｱﾍﾞﾝﾀﾞｿﾞｰﾙ(0.92～0.96ppm/2検体) ﾋﾟﾍﾟﾛﾆﾙﾌﾞﾄｷｼﾄﾞ(0.019ppm/1検体)	花豆	1	202	不検出
				バター豆	1	202	不検出
				バナナ	3	606	ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ(0.017～0.039ppm/2検体)
かぼちゃ	5	1,010	ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.015～0.019ppm/2検体) ,ｼﾞｺﾎｰﾙ(0.013～0.014ppm/2検体) , ﾌﾟﾛｼﾐﾄﾞﾝ(0.01ppm/1検体)	ﾊﾟｲﾅｯﾌﾟﾙ	2	404	不検出
				パパイヤ	1	202	不検出
				パプリカ	3	606	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ(0.010ppm/1検体), ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.006ppm/1検体), ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.054ppm/1検体), ｸﾛﾙﾌｪﾅﾋﾟﾙ(0.018ppm/1検体), ﾃﾄﾗｺﾅｿﾞｰﾙ(0.069ppm/1検体)ﾋﾟﾘﾀﾞﾍﾞﾝ(0.013ppm/1検体), ﾌﾟﾛｼﾐﾄﾞﾝ(0.30ppm/1検体)
キウイ	1	202	不検出				
くるみ	1	202	不検出				
ｸﾞﾚｰﾌﾟﾌﾙｰﾂ	3	606	2.4-D(0.016ppm/1検体),ｲﾏｻﾞﾘﾙ(0.093～1.6ppm/3検体),ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.007ppm/1検体), ｵﾙﾄﾌｪﾆﾙﾌｪﾉｰﾙ(0.58ppm/1検体),ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ(0.026ppm/1検体),ｼﾞｺﾎｰﾙ(2.0ppm/1検体),ﾁｱﾍﾞﾝﾀﾞｿﾞｰﾙ(0.30～1.8ppm/2検体),ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ (0.025ppm/1検体),ﾋﾟﾘﾌﾟﾛｷｼﾌｪﾝ(0.007ppm/1検体),ﾋﾟﾍﾟﾛﾆﾙﾌﾞﾄｷｼﾄﾞ(0.019ppm/1検体)	ぶどう	1	202	ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.090ppm/1検体), ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.022ppm/1検体) , ｼﾌﾟﾛｼﾞﾆﾙ(0.48ppm/1検体) , ﾌｪﾝﾍｷｻﾐﾄﾞ(0.80ppm/1検体)ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ(0.011ppm/1検体)
				ﾌﾞﾙｰﾍﾞﾘｰ	3	606	ｱｾﾀﾐﾌﾟﾘﾄﾞ(0.009～0.021ppm/3検体) , ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.013ppm/1検体), ｼﾌﾟﾛｼﾞﾆﾙ(0.050～0.13ppm/2検体), ﾋﾟﾗｸﾛｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.020～0.039ppm/2検体), ﾌｪﾝﾍｷｻﾐﾄﾞ(0.035～1.2ppm/3検体) , ﾎﾞｽｶﾘﾄﾞ(0.012～0.16ppm/2検体)
小松菜	1	202	不検出				
小麦粉	2	404	ﾏﾗﾁｵﾝ(0.013ppm/1検体)				
ごま	2	404	不検出				
さといも	1	202	不検出				
しょうが	2	404	不検出	ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ	5	1,010	ｱｿﾞｷｼｽﾄﾛﾋﾞﾝ(0.010ppm/1検体)
塩ゆでえだまめ	1	202	不検出	ﾍﾞﾋﾞｰﾗｲﾏ豆	1	202	不検出

試料名	検体数	検査項目数	検査結果	試料名	検体数	検査項目数	検査結果
ほうれん草	2	404	不検出	レモン	2	404	ｲﾏｻﾞﾘﾙ(1.2～1.4ppm/2検体)，ｼﾏｼﾞﾝ(0.003ppm/1検体) ﾁｱﾍﾞﾝﾀﾞｿﾞｰﾙ(0.09～0.21ppm/2検体)
メロン	1	202	ｲﾐﾀﾞｸﾛﾌﾟﾘﾄﾞ(0.019ppm/1検体)，ﾋﾞﾌｪﾝﾄﾘﾝ(0.002ppm/1検体)				
ライマ豆	1	202	不検出				
ライム	1	202	不検出				

2．食品添加物検査

わが国は，食料品の多くを海外に依存しているが，それらに使用される食品添加物の使用基準は国際的に不統一であるため，国内基準に合わない食品が輸入販売されている可能性がある．そこで，検疫所における検査結果等から，違反事例の多い項目を重点的に選んで，表 22 に示す検査を 21 検体について実施した．その結果，すべて基準に適合していた．

表 22　輸入食品中の食品添加物検査結果

食　品　名	原　産　国	検体数	検査項目数	検査項目	検査結果
菓　　子	オーストリア	1	12	サイクラミン酸	不検出
	ベルギー	1		*tert*-ﾌﾞﾁﾙﾋﾄﾞﾛｷﾉﾝ	不検出
	タイ	1			
	ベトナム	1			
	アメリカ	2			
漬　　物	中国	1	5	サイクラミン酸	不検出
シロップ漬け	タイ	3			
	中国	1			
オレンジ	アメリカ	1	20	ｵﾙﾄﾌｪﾆﾙﾌｪﾉｰﾙ	不検出～0.58 g/kg
	オーストラリア	1		ﾁｱﾍﾞﾝﾀﾞｿﾞｰﾙ	不検出～1.8g/kg
グレープフルーツ	アメリカ	2			
レモン	アメリカ	1			
	チリ	1			
ライム	メキシコ	1			
バナナ	フィリピン	2			
ネーブルオレンジ	オーストラリア	1			
合　　計		21	37		

3．残留抗生物質検査

輸入ハチミツ 10 検体について残留抗生物質（オキシテトラサイクリン，クロルテトラサイクリン，テトラサイクリン，クロラムフェニコール）の検査を実施した結果，すべて不検出であった．

4．残留合成抗菌剤検査

輸入ウナギ加工品３検体についてマラカイトグリーン，ロイコマラカイトグリーンの残留検査を実施した結果すべて不検出であった．また輸入エビ８検体についてサルファ剤５種（スルファチアゾール，スルファメラジン，スルファジミジン，スルファモノメトキシン，スルファジメトキシン）とトリメトプリムの残留検査を実施した結果，いずれも不検出であった．

5．アフラトキシン検査

アフラトキシンは，代表的なカビ毒であり，ナッツ類，香辛料等に含有されている可能性がある．そこで輸入ナッツ類６検体，赤唐辛子１検体についてアフラトキシンの検査を実施した結果，いずれの食品からも検出

されなかった.

6．リステリアの検査

輸入ナチュラルチーズ５検体についてリステリア菌の分離検査を実施した結果, いずれの検体からも検出されなかった.

7）遺伝子組換え食品検査

ジャガイモ加工品(８検体），輸入大豆（８検体），トウモロコシ穀粒および加工品（16 検体）の検査を実施した．いずれも組換え遺伝子は不検出であった.

8）特定原材料(アレルギー物質）検査

表示以外の特定原材料物質の使用の有無について，確認の検査を実施した．卵（11 検体），乳（13 検体），落花生（８検体）の検査を実施した結果，乳の検査で１検体が陽性であった.

9）放射性物質検査

東京電力福島第一原子力発電所の事故を受け，県内に流通する食品について放射性物質（ヨウ素，セシウム）の検査を実施した.

汚染した稲わらを食べたことが確認された牛の肉 46 検体を検査したところ，１検体で国の定める暫定基準 500bq を超える放射性セシウムが確認された．また，県内産農産物４検体，その他しし肉など３検体では暫定基準値を超えるものはなかった.

10）緊急検査

食品中の自然毒が原因と思われる食中毒事例について，保健所からの依頼検査を実施した.

平成２３年４月，岐阜県内の直売所で購入した山菜を天ぷらにして食べたところ，ろれつが回らないなどの中毒症状を発症し, 病院での診察でハシリドコロによる食中毒と推定された. 購入した山菜のハンゴンソウ（食用）にハシリドコロが混入していたことが疑われたので, 残品１検体及び山菜の自生地で再度採取した２検体について，この食中毒の原因となるアトロピンとスコポラミンを測定した．その結果，いずれの検体からもアトロピンとスコポラミンが検出されたことから，ハシリドコロが混入していたことが確認された.

3.4.2　依頼検査

放射性物質検査

県内の保健所において県民（県内企業）から相談を受けた「食品」，「井戸水等の飲料水」について，保健環境研究所で検体を受付け，放射性ヨウ素，放射性セシウムの依頼検査を実施した.

食品については４５３検体を実施した．また，井戸水等の飲料水については依頼はなかった.

4　技術指導及び支援

4.1　保健所検査担当者等の研修

年 月 日	研　　修　　内　　容	受　講　者	担　当　部
23．6．2～ 3	第1回保健所試験検査担当者研修会（講義，実習）	保健所等（13名）	保健科学部
24．3．2	第3回保健所試験検査担当者研修会（講義）	保健所等（25名）	保健科学部 食品安全検査ｾﾝﾀｰ

4.2　講師派遣

「研修講師等」

年 月 日	内　　容	場　所	受　講　者	担当者
23．4.27	第1回環境技術研究会	各務原市 (ﾃｸﾉﾌﾟﾗｻﾞ)	岐阜県工業会(100名)	坂井 田中
5.12	平成23年度公害関係立入検査研修会（講義）	岐阜市	振興局環境課職員等(30名)	西川
6.14	岐阜薬科大学連携大学院講義 「地方衛生研究所としての薬事衛生的研究」	岐阜市 (岐阜薬大)	岐阜薬科大学大学院生 （33名）	吉田
7.11	岐阜薬科大学連携大学院講義 「放射性物質汚染について」	岐阜市 (岐阜薬大)	岐阜薬科大学大学院生 （27名）	鈴木
10.24	岐阜薬科大学連携大学院講義 「βラクタム薬耐性菌の発生状況と事例」	岐阜市 (岐阜薬大)	岐阜薬科大学大学院生 （32名）	白木 (豊)
11．7	岐阜薬科大学連携大学院講義 「LC-MS/MSによる食中毒原因物質と残留化学物質の分析について」	岐阜市 (岐阜薬大)	岐阜薬科大学大学院生 （43名）	南谷
11.26	第2回岐阜薬科大学機能性健康食品研究講演会	岐阜市	岐阜薬科大学学生他	南谷
11.29	岐阜県の感染症と予防対策(講義)	岐阜市 (岐阜大)	岐阜大学生命工学科１年生 (60名)	小林

「出前講演」

年 月 日	内　　容	場　所	受　講　者	担当者
23．6.21	麻の不思議－その使われ方 食の安全性	各務原市	西ライフデザインセンター 生涯学習ライフカレッジ稲羽東受講生（38名）	河村 大塚
6.24	麻の不思議その使われ方 食の安全性	各務原市	西ライフデザインセンター 生涯学習ライフカレッジ稲羽西受講生（38名）	多田 大塚
6.29	カワゲラウオッチング	海津市	海津市立城山小学校 4年生（65名）	岡(正) 佐々木 高島
7.15	水と環境	安八町	安八町立登龍中学校 1年生（115名）	岡(正) 佐々木
10.17	食の探訪「みて納得！行政機関」	各務原市	御嵩町食生活改善推進協議会（23名）	大塚 中村
24．1.24	身近な環境問題	各務原市	一般市民（45名）	西川

「所内見学」

年 月 日	団　体　名	人　数	見　学　先
23．8．8	イン　リーメイ（西濃保健所研修生）「見学と業務案内」	2	食品安全検査ｾﾝﾀｰ
24．1.26	岐阜大学応用生物科学部獣医学科課程4年生	36	所全体
2.23	一般（研究成果発表会参加者）	10	所全体

4.3　研修生の受入

年 月 日	研　修　内　容	受　講　者	担当者
23．4.12 ～24．3.31	フロン類の分析技術	上田石灰製造(株)　竹田智也	岡（隆）
23．8.10	保健科学部業務の概要	岐阜大学学生　1 名 (応用生物科学部食品生命科学課程 3 年生)	小林
8.23	保健科学部業務の概要と調査研究	岐阜大学学生　3 名 (応用生物科学部獣医学課程 5 年生)	小林

4.4　技術支援（現場での指導等）

年 月 日	研　修　内　容	受　講　者	担当者
23．6．9	ローヤルゼリーの脂肪酸測定について	秋田屋本店	大塚 中村 永井 南谷
7.21 ～24．3．1	岐阜県医薬品等ＧＸＰ研究会 ・総会 ・医薬品等ＧＶＰ、ＧＱＰ、ＧＭＰに関連した「コンピュータシステムバリデーション及び専門性の高い分野に関する教育訓練」に係る調査研究及び「コンピュータ化システム管理規定等及び教育訓練手順書・教育訓練教材」を作成 ・成果報告会	岐阜県医薬品等ＧＸＰ研究会	多田
23．8.17	焼酎の異臭	産業技術センター	高原 大塚
9.26	焼酎の異臭	産業技術センター	高原 大塚
24．1.23	陶磁器製品の観察	萬皿屋、たち吉、コーズ	大塚 中村
1.30	エゴマに残留するアシュラム分析について	農業技術センター	大塚 永井 南谷
2．1	岐阜県環境計量証明事業協会統一精度管理調査結果報告会	岐阜県環境計量証明事業協会	岡（正）

4.5　来所者等への個別指導

所属機関	保健科学部	生活科学部	環境科学部	食品安全検査ｾﾝﾀｰ
県　関　係	1	3	11	3
市　町　村	0	0	9	0
そ の 他※	1	0	28	3
計	2	3	48	6

※民間検査機関、製造業者等を含む。

5 行　　事

5.1 会議等

年 月 日	会　　議　　名	場　所	出席人数
23．4．6	岐阜県工業会第１回幹事会	各務原市	1
4.15	保健所等関係課長会議	岐阜市	3
4.18	環境行政会議	岐阜市	1
4.20	市町村等環境保全担当者打ち合わせ会議	岐阜市	1
4.21	保健所等生活衛生関係担当チーフ会議	岐阜市	4
4.22	第１回保健所長等会議	岐阜市	1
5.13	保健所試験検査担当チーフ会議	岐阜市	2
5.18	地研全国協議会東海・北陸支部総会東海ブロック総会	岐阜市	2
5.19	全国環境研協議会第１回理事会	東京都	2
6．3	地衛研全国協議会臨時総会	東京都	1
6．3	第１回リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
6.17	全国地衛研東海北陸支部総会	岐阜市	1
6.17	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部共同調査（酸性雨）会議	大津市	1
6.20	第１回試験研究機関所属長会議	岐阜市	1
6.24	第２回保健所長等会議	岐阜市	2
6.28	地域イノベーション創出研究開発事業	各務原市	2
6.29	平成 23 年度衛生微生物技術協議会総会	東京都	3
6.29～30	衛生微生物技術協議会第 32 回研究会	東京都	3
6.29～30	薬剤耐性菌等に関する研究班打合せ会議	東京都	1
6.30	厚生労働省感染症流行予測調査事業担当者会議	東京都	2
7．6	東海地区環境試験研究機関所長・総務課長等会議	長久手町	3
7.11	生活衛生関係保健所等課長会議	岐阜市	2
7.22	環境測定分析統一精度管理東海・近畿・北陸支部ブロック会議	津市	1
7.29	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部役員会	各務原市	4
8．5	第１回試験研究機関部長会議	岐阜市	2
8.22	地方衛研東海北陸ブロック会議	名古屋市	1
9．2	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部総会	大阪市	2
9.12	生食用食肉の規格基準設定に関する説明会	東京都	1
9.14	保健所等生活衛生課長会議	岐阜市	2
9.16	第３回保健所長等会議	岐阜市	2
9.30	第２回試験研究機関所属長会議	岐阜市	1
10．5	第２回リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
10.13～14	「地方衛生研究所の検査研究機能の強化及び疫学情報連携ネットワーク体制の構築」専門家会議	名古屋市	1
10.18～19	地方衛生研究所全国協議会	秋田市	1
10.25	地域イノベーション創出研究開発事業ヒアリング	名古屋市	1
10.31	東海地区環境試験研究機関会議大気・騒音分科会	浜松市	1
11．4	新型インフルエンザ対策推進会議幹事会	岐阜市	1
11.10	第 48 回全国衛生化学技術協議会年会	長野市	1
11.18	保健所等疫学担当者研修会企画会議	岐阜市	1
11.22	平成 23 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会	京都市	1
11.25	第４回保健所長等会議	岐阜市	2
11.28	岐阜大学応用生物学科部連携会議	岐阜市	1
12．7	全国環境研協議会第２回理事会	千葉市	2
12．9	地方衛研東海北陸ブロック会議	名古屋市	2
12.22	生活衛生関係保健所等課長会議	岐阜市	2

年 月 日	会　　議　　名	場　所	出席人数
12.27	保健所長等会議	岐阜市	1
24. 1.17	東海地区環境試験研究機関会議水質・化学物質分科会	各務原市	4
1.23	岐阜県汚染土壌対策検討委員会	岐阜市	1
1.27	第 5 回保健所長等会議	岐阜市	2
2. 1	岐阜県国民保護共同図上訓練に関する説明会	岐阜市	1
2. 2	岐阜県国民保護共同図上訓練	岐阜市	1
2. 2	全国環境研協議会総会	千葉市	1
2. 3	環境試験研究機関等所長会議	東京都	1
2. 8	岐阜県工業会技術交流委員会	各務原市	1
2. 8	第 3 回リサイクル認定製品付託検討会議	岐阜市	1
2.10	第 3 回試験研究機関所属長会議	岐阜市	1
2.13	国設酸性雨・大気環境測定所担当者会議	東京都	1
2.14	酸性雨モニタリング（陸水）調査説明会	東京都	1
2.17	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部近畿ブロック有害物質部会	滋賀県	1
2.20	酸性雨モニタリング（土壌・植生）調査説明会	東京都	1
2.29	全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部共同調査（酸性雨）会議	四日市市	1
3. 9	第 6 回保健所長等会議	岐阜市	1
3.22	保健所等生活衛生関係課長会議	各務原市	2

5.2　研修会等

年 月 日	研　　修　　名	場　所	出席人数
23. 5.12	公害関係立入検査研修会	岐阜市	2
5.18	岐阜県地震防災フォーラム	岐阜市	1
5.25～27	クロマトグラフィーセミナー	大阪市	1
6.14～23	平成 23 年度環境放射能分析研修	千葉市	1
6.15	新型インフルエンザセミナー	名古屋市	1
6.23～24	県食品衛生監視員等研修会	岐阜市	4
6.19～ 7. 1	機器分析研修	所沢市	1
6.24	国際規制物質に関する講習会	東京都	1
7. 4	ＬＣ／ＭＳ／ＭＳ操作講習会	東京都	1
7. 4～ 5	特別研修（ＬＣ/ＭＳ/ＭＳオペレーション研修）	千葉市	1
7. 7	科学研究費助成事業制度説明会	名古屋市	1
7. 7～ 8	新任主任級研修	岐阜市	1
7.28	第 5 回リン資源リサイクルシンポジウム	東京都	1
9. 5～ 7	県税徴収実習	岐阜市	1
9. 6	MS 定量分析セミナー	千葉県	1
9.14	ISO 内部環境監査員研修	岐阜市	1
9.28～30	第 22 回ＨＩＶ検査法技術研修会	名古屋市	1
10. 7	第 2 回環境技術研究会	笠松町	2
10.16～28	環境汚染有機化学物質分析研修	埼玉県	1
10.20～21	下水汚泥の有効利用に関するセミナー	神戸市	1
10.31	地方感染症情報センター担当者向け東海・北陸ブロック疫学研修会	名古屋市	2
10.31	岐阜県工業会特別講演会	多治見市	2
11. 4	第 55 回岐阜県公衆衛生研修会	岐阜市	3
11. 8	主査級４年目研修	岐阜市	1
11.17	課長補佐級６年目研修	岐阜市	1
11.17	第 6 回リン資源リサイクルシンポジウム	東京都	1
11.18	平成 23 年食品衛生検査施設信頼性確保部門責任者等研修会	東京都	1
11.21	平成 23 年度研究員研修会	関市	2

年 月 日	研　　修　　名	場　所	出席人数
11.23～12.9	水質分析研修	所沢市	1
11.25	国立医薬品食品衛生研究所シンポジウム	東京都	1
11.30	感染症の病原体等の運搬に関する講習会	東京都	1
12．4～ 8	環境放射能分析研修	千葉県	1
12．9	サンプル前処理セミナー	大阪市	1
12．9	第 1 回愛知衛生研究所技術研修会	名古屋市	1
12.14～16	バイオセーフティ技術講習会	東京都	1
24．1.20	岐阜県国民保護共同図上訓練に係る研修会	岐阜市	1
1.25	溶出試験テクニカルセミナー	大阪市	1
1.26～27	化学物質環境実態調査環境科学セミナー	東京都	2
1.27	指定薬物分析研修会	東京都	1
2．2～ 3	地衛研東海・北陸支部衛生化学部会	名古屋市	6
2．8	レジオネラ属菌衛生対策講習会	関市	3
2.15～16	第 27 回全国環境研究所交流シンポジウム	つくば市	1
2.22～23	希少感染症診断技術研修会	東京都	2
2.27～28	平成 23 年度地研衛生理化学部門研修会	和光市 東京都	1
3．1～ 2	地衛研東海・北陸支部微生物部会	岐阜市	6
3．1	平成 23 年度岐阜県医薬品等製造販売・製造業者講習会	各務原市	1
3．9	保健所等疫学担当者研修会	各務原市	1
3.13	ＮＥＳＩＤ更改に係る研修会	東京都	1
3.14～16	第 47 回ねずみ衛生害虫駆除技術研修会	川崎市	1
3.16	平成 23 年度放射線監視結果収集調査検討会	東京都	1

5.3　学会等

年 月 日	学　　会　　名	場　所	出席人数
5.16～17	食品衛生学会緊急シンポジウム（食品衛生学会）	東京都	1
5.28	緊急シンポジウム（食品衛生学会）	東京都	1
6．2～ 3	無機マテリアル学会第 122 回学術講演会	船橋市	1
6.16～17	第 17 回土壌・地下水汚染防止対策研究集会	川崎市	1
8.30～31	日本防菌防黴学会第 38 回年次大会	豊中市	1
9.21～23	第 84 回日本生化学会大会年会	京都市	1
9.29～30	第 21 回無機リン化学討論会	名古屋市	1
9.29～30	食品衛生学会	秋田市	1
10．6～ 7	第 32 回日本食品微生物学会学術総会	東京都	1
10.18～19	第 17 回大気化学討論会	宇治市	1
11．3～ 5	第 22 回廃棄物資源循環学会研究発表会	東京都	1
11.10～11	第 48 回全国衛生化学技術協議会年会	長野市	3
11.11	食品安全安心シンポジウム	岐阜市	1
11.17 ～18	無機マテリアル学会第 123 回学術講演会	佐賀市	1
11.27	第 44 回東海薬剤師学術大会	四日市市	1
12．1	第 53 回環境放射能調査研究成果発表会	東京都	1
12．6	循環型社会形成推進研究発表会	大阪市	1
12.16	食品衛生業務に関する講演会	名古屋市	1
24．2．2～ 3	第 26 回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会	京都市	2
3．9	大気環境学会第 30 回研究会	東京都	1
3.14～16	第 46 回日本水環境学会年会	東京都	1

5.4　講演会等

[保健環境研究所研究成果発表会]

平成 24 年 2 月 23 日　健康科学センター(保健環境研究所）「ハイビジョンシアター」

1　感染症発生動向調査総括～平成 19 年から平成 23 年までの成績について～
2　痩身用健康食品からのセンノシド検出事例について
3　岐阜県における食品の放射性物質検査の概要と検討
4　岐阜県における環境放射能測定結果について
5　下水汚泥から回収されたリン酸化合物による脱色性能について

6　検査備品及び図書等

6.1　主要検査備品

品　　名	規　　格	数量	購入年度	所属
リアルタイムＰＣＲ	Applied Biosystems StepOnePlus	1	H21	保健
ユニバーサル冷却遠心機	クボタ　５９２２	1	H21	保健
RNA自動抽出装置	ＱＩＡＧＥＮ　ＱＩＡｃｕｂｅ	2	H21	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－Ｕ５３８Ｄ	1	H21	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－Ｕ５３８	1	H21	保健
電子天秤	ザルトリウス　ＭＳＥ２２０３Ｐ	1	H21	保健
マイクロ冷却遠心機	クボタ　３７８０	1	H21	保健
オートクレーブ	トミー　ＬＳＸ－３００	1	H21	保健
超音波洗浄装置　超音波発振器	日立国際電気ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ UO600PB-26	1	H21	保健
超音波洗浄装置　超音波洗浄槽	日立国際電気ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ UT-50PA	1	H21	保健
高圧滅菌器	平山製作所　HV-８５	1	H19	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－Ｕ５３８	1	H19	保健
感染動物飼育装置	日本クレア　ＦＲＰバイオ2000	1	H19	保健
バイオメディカルフリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－Ｕ３３８	1	H19	保健
超低温フリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－３９３ＡＴ	1	H18	保健
超低温フリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－５９３ＡＴ	1	H18	保健
薬用保冷庫	サンヨー　ＭＰＲ－４１４ＦＳ	1	H18	保健
遺伝子増幅装置	ＢＩＯ－ＲＡＤ　ｉＣｙｃｌｅｒ	1	H18	保健
倒立顕微鏡	オリンパス　ＣＫＸ４１Ｎ－３１ＲＣ	1	H18	保健
冷却遠心器	ＫＵＢＯＴＡ　５９２２	1	H18	保健
顕微鏡用デジタルカメラセット	オリンパス　ＦＸ－３８０－１	1	H18	保健
CO2インキュベーター	サンヨー　ＭＣＯ－３６ＡＩＣ	1	H18	保健
CO2インキュベーター	サンヨー　ＭＣＯ－３６ＡＩＣ（ＵＶ）	1	H18	保健
遺伝子増幅装置	ABI Gene Amp PCR System 9700	1	H17	保健
ゲル撮影装置	ＴＯＹＯＢＯ　ＦＡＳ－Ⅲ	1	H17	保健
Nano Drop（ｽﾍﾟｸﾄﾛﾒｰﾀｰ）	Ｎａｎｏ　Ｄｒｏｐ　ＮＤ－１０００	1	H17	保健
冷却遠心機	クボタ５９２２	1	H17	保健
オートクレーブ	トミー　ＳＸ－３００	1	H16	保健
オートクレーブ	トミー　ＳＸ－５００	1	H16	保健
インキュベーター	サンヨー　ＭＩＲ－１５３	1	H16	保健
遺伝子基本配列入力解析装置	日立　ＤＮＡＳＩＳｐｒｏ	1	H16	保健
ハイブリダイゼーション反応恒温槽	Hitachi Software　KWO-015	1	H16	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド　ＣＨＥＦ－ＤＲⅢ	1	H16	保健
ﾊﾞｲｵｼｰﾙﾄﾞﾛｰﾀｰ（ﾏｲｸﾛ遠心機用）	クボタ　ＡＴ－２７３０Ｍ	1	H15	保健
ＰＣＲ装置	バイオラッドiCycler　170-8720JA	1	H15	保健
メディカルフリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－Ｕ５３７	1	H15	保健
ＳＡＲＳｺﾛﾅｳｲﾙｽ検出用測定装置	ループアンプ　ＬＡ－３２０Ｃ	1	H15	保健
冷却遠心機	クボタ　５９２２	1	H14	保健
感染性医療廃棄物用高圧滅菌機	トミー　ＭＳＳ－３２５	1	H14	保健
ＤＮＡ解析装置一式	ベックマンＣＥＱ８０００	1	H14	保健
超低温フリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－１９２	2	H13	保健
遺伝子迅速検出システム	東京インスツルメンツ　DNAscope4他	1	H13	保健
ｹﾞﾙﾄﾞｷｭﾒﾝﾃｰｼｮﾝ解析ｼｽﾃﾑ	日本バイオ・ラッド	1	H12	保健
ﾏｲｸﾛﾌﾟﾚｰﾄﾃﾞｰﾀ解析ｼｽﾃﾑ	日本バイオ・ラッド	1	H12	保健
遺伝子増幅装置	タカラ　ＴＰ３０００	1	H10	保健
高速冷却遠心分離器	日立　ＣＲ２１Ｆ	1	H10	保健

品　　名	規　　格	数量	購入年度	所属
超低温フリーザー	三洋電機　ＭＤＦ－１１５５ＡＴＮ他	1	Ｈ９	保健
ＤＮＡ一次構造解析装置	ファルマシア	1	Ｈ８	保健
超音波洗浄装置	シャープ　ＭＵ－６２４	1	Ｈ８	保健
落射型蛍光顕微鏡	オリンパス　ＢＸ－６０	1	Ｈ８	保健
濃縮遠心機	サーバント　ＡＥＳ－１０００	1	Ｈ７	保健
超低温フリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－７９２ＡＴ	1	Ｈ６	保健
パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド　ＣＨＥＦ－ＤＲ	1	Ｈ６	保健
超遠心分離器	日立　ＨＩＭＡＣ　ＣＰ－７０Ｇ	1	Ｈ４	保健
自動分注器	三光純薬　ＳＧＲ－２００	1	Ｈ３	保健
オートダイリューター	三光純薬　ＳＰＲ－２	1	Ｈ１	保健
廃水処理対策ｼｽﾃﾑ付ｴﾊﾞﾎﾟﾚｰﾀｰ	EYELA　NVC-1100　SB-1000　CCA-1100	1	H13	生活
液滴向流クロマトグラフ	東京理化　普及型ＤＣＣシステム	1	H13	生活
超低温フリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－Ｕ５８１	1	H12	生活
ＨＬＰＣデータ解析システム	日本分光	1	H12	生活
高速液体クロマトグラフ	島津　ＬＣ－１０ＡＤ	1	Ｈ４	生活
高速液体クロマトグラフ	アジレントＬＣ－１１００	1	H12	生活
旋光度計	日本分光　Ｐ－１０２０ＧＴ	1	H10	生活
二波長クロマトスキャナー	島津　ＣＳ－９１０	1	Ｈ４	生活
崩壊試験器	宮本理研工業　ＨＭ－２Ｆ型	1	Ｈ４	生活
溶出試験器	バンケル　ＶＫ－７０００	1	H16	生活
分光光度計	日本分光　Ｖ－６５０	1	H18	生活
マイクロプレートリーダー	バイオラッド　モデル６８０	1	H18	生活
真空凍結乾燥器	アドバンテック　ＶＦ－３５０	1	H12	生活
高分解能ガスクロマトグラフ質量分析装置ワークステーション	日本電子（株）ＭＳｔａｔｉｏｎＰＣ	1	H21	環境
メカニカル制御攪拌機	ＩＫＡ社製　ＲＷ２０デジタル	1	H21	環境
ハンディタイプ溶存酸素計	ＨＯＲＩＢＡ製　ＯＭ－５１－１０	1	H21	環境
一酸化炭素メーター	ＢＫ　ＰＲＥＣＩＳＩＯＮ製　６２７	1	H21	環境
ホルムアルデヒド簡易測定器	新コスモス電機　ＸＰ－３０８Ｂ	1	H20	環境
ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ分析装置ワークステーション	日本ﾀﾞｲｵﾈｸｽ　Chromeleon CM6.8	1	H20	環境
卓上型超音波洗浄器	㈱エスエヌティ　ＵＳ－１０８	1	H20	環境
ハイボリウムエアーサンプラー	シバタ　ＨＶ－１０００Ｆ	1	H19	環境
高感度可燃性ガス検知器	新コスモス電機　ＸＰ－３１６０	1	H19	環境
天秤	ザルトリウス　ＬＡ１３０Ｓ－Ｆ	1	H19	環境
ＶＯＣ分析計	島津製作所　ＶＭＦ－1000（FID式）	1	H18	環境
複合ガス測定器（CO・CO2ﾓﾆﾀｰ）	光明理化学工業　ＵＭ－280Ｌ	1	H18	環境
誘導結合プラズマ質量分析計	Ａｇｉｌｅｎｔ　７５００ｃｅ	1	H18	環境
Ｇｅ半導体検出器一式	セイコー　ＧＥＭ２５Ｐ４	1	H18	環境
ガスクロマトグラフ装置	島津ＧＣ２０１４（ＦＰＤ）	1	H17	環境
位相差顕微鏡	ニコン　ＥＣＬＩＰＳＥ８０ｉ	1	H17	環境
低ﾊﾞｯｸｸﾞﾗﾝﾄﾞ放射能自動測定装置	キャンベラ　５－ＸＬＢ	1	H17	環境
Ｇｅ半導体核種分析装置	セイコー　ＭＣＡ７６００	1	H17	環境
ガスクロマトグラフ（ＴＣＤ）	島津　ＧＣ８Ａ	1	H15	環境
高速液体クロマトグラフ	島津　ＨＰＬＣ　ＶＰ－１０	1	H15	環境
赤外分光光度計	日本分光　ＦＴＩＲ	1	H14	環境
ガスクロマトグラフ	日立　Ｇ３０００	1	H14	環境
イオンクロマトグラフ	島津　ＨＩＣ－ＳＰ	1	H14	環境
悪臭測定装置	島津　14ＢＦＦｐ	1	H14	環境
いおう酸化物・粉じん自動測定記録計	東亜ＤＫＫ　GRH-106,DUB-12	1	H14	環境
冷凍遠心機	クボタ　５９３０	1	H13	環境
高速自動濃縮装置	柴田科学　５４１０－０３	1	H13	環境
ＥＣＤ検出器付ガスクロマトグラフ	アジレント　６８９０Ｎ	1	H13	環境

品　　名	規　　格	数量	購入年度	所属
メディカルフリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－Ｕ４４２	1	H12	環境
真空低温乾燥器	ヤマト科学　ＡＤＰ－２１	1	H12	環境
大量注入装置	ＧＬサイエンス	1	H12	環境
マルチ環境計測システム	テストー４４５	1	H12	環境
オキシダント自動測定記録計	東亜ＤＫＫ　ＧＵＸ－２５３	1	H12	環境
窒素酸化物自動測定記録計	東亜ＤＫＫ　ＧＬＮ－２５４	1	H12	環境
中性子サーベイメーター	アロカ	1	H12	環境
高分解能ｶﾞｽｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ質量分析装置	日本電子（株）　ＪＭＳ－７００	1	H11	環境
高速液体クロマトグラフ	ＨＰＬＣ	1	H11	環境
ハイボリウムエアーサンプラー	柴田科学　ＨＶＣ－１０００Ｎ	1	H10	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード　ＨＰ６８９０	1	Ｈ９	環境
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード　ＨＰ５９７３	1	Ｈ９	環境
マイクロウェーブ分解装置	マイルストーン社　MLS-1200MEGA他	1	Ｈ９	環境
冷却小型遠心機	コクサン　Ｈ－５００ＦＲ型	1	Ｈ９	環境
非メタン炭化水素測定装置	島津　ＨＣＭ－４Ａ他	1	Ｈ９	環境
重油中いおう分分析装置	理学電気　サルファＸ　ＴＲ４３００９	1	Ｈ８	環境
メディカルフリーザ	三洋電機　ＭＤＦ－Ｕ４４２	1	Ｈ８	環境
シンチレーションサーベイメーター	アロカ　ＴＣＳ－１６６	1	Ｈ８	環境
悪臭測定装置	島津　ＧＣ－１７ＡＰＦＦｐ	1	Ｈ７	環境
還元気化水銀測定装置	マーキュリー　ＩＲＡ－２Ａ	1	Ｈ７	環境
高速液体クロマトグラフ分取システム	日本分光　ＰＶ－９８７	1	Ｈ７	環境
風向風速計（測定車積載用）	小笠原計器　Ｃ－Ｗ１０３	1	Ｈ７	環境
大気汚染測定車「あおぞら」	いすず　ＫＣ－ＬＲ２３３Ｊ	1	Ｈ７	環境
オゾンメーター	東亜ＤＫＫ	1	Ｈ５	環境
分光光度計	日立　Ｕ－３０００	1	Ｈ５	環境
一酸化炭素記録計	堀場　ＡＰＭＡ－３５００	1	Ｈ４	環境
イオンクロマトグラフ	横河　ＩＣ　７０００Ｓ	1	Ｈ３	環境
ガスクロマトグラフ（ＦＰＤ）	日立　２６３－７０	1	Ｈ１	環境
ガスクロマトグラフ（ＥＣＤ）	日立　１６３	1	Ｓ53	環境
液体クロマトグラフ溶媒選択バルブ	アジレント(株)Ｇ１３６０Ａ１２００ＬＣ用	1	H22	食品
粉砕器	㈱レッチェ　グラインドミックス　GM200	1	H21	食品
ガスパージ式濃縮器	ＧＬサイエンス リアクティサーモ	1	H21	食品
分液ロート振とう器	東京理科機器　MMV-1000W	1	H21	食品
ガスクロマトグラフタンデム質量分析計	ｱｼﾞﾚﾝﾄ７０００Ｂ　GC/MS　ﾄﾘﾌﾟﾙ四重極ｼｽﾃﾑ	1	H21	食品
抽出用マントルヒーター	㈱東京技術研究所　HKI-A-6	1	H21	食品
液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌﾀﾝﾃﾞﾑ質量分析計	ＡＰＩ　４０００　ＱＴｒａｐ	1	H20	食品
自動化農薬成分抽出装置	ＧＬサイエンス　Ｇ－Ｐｒｅｐ　GPC8100	1	H20	食品
高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ操作ｿﾌﾄ	島津高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌVP10 V6ﾊﾞｰｼﾞｮﾝｱｯﾌﾟｷｯﾄ	1	H20	食品
冷凍庫	日本フリーザー　ＧＳ－５２０３ＫＨＣ	1	H19	食品
オートクレーブ	ヤマト　ＳＰ２００	1	H19	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	島津　ＧＣ／ＭＳ－２０１０	1	H18	食品
ガスクロマトグラフ（ＥＣＤ）	島津　ＧＣ－２０１０　ＥＣＤ	1	H17	食品
還元気化水銀測定装置	日本インスツルメント　RA-3 Model3220	1	H16	食品
ガスクロマトグラフ（ＥＣＤ）	島津　ＧＣ－２０１０　ECD-NPD付き	1	H15	食品
ガスクロマトグラフ（ＮＰＤ）	アジレント　ＨＰ－６８９０	1	H15	食品
ガスクロマトグラフ質量分析計	ヒュレットパッカード　ＨＰ５９７３	1	H10	食品
原子吸光分光光度計	セイコー電子工業　ＳＡＳ７５００	1	Ｈ８	食品
高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ(ｶｰﾊﾞﾒｲﾄ農薬測定用)	島津　ＬＣ－１０ＡＤポストカラム	1	Ｈ６	食品

［平成 23 年度に購入(導入)した検査備品］

品　　名	規　　格	数量	所属
超低温フリーザー	サンヨー　ＭＤＦ－７９４ＡＴ	1	保健
ＰＣＲ装置	バイオラッド　C1000　Touch ｻｰﾏﾙｻｲｸﾗｰ	2	保健
超純水製造装置	日本ミリポア　Milli-Q Integral 3S	1	保健
溶出試験用自動サンプリング装置	アジレント　8000ｼﾘﾝｼﾞﾎﾟﾝﾌﾟﾀｲﾌﾟ15-7040	1	生活
分液ロート振とう機	タイテック　強力振とう機ＳＲ－２ＤＳ	1	生活
冷蔵装置	日本フリーザー　冷凍冷蔵庫	1	生活
電器炉	アドバンテック 電器炉ＦＵＬ２４０ＦＡ	1	生活
ＰＣＲシステム	パーキンエルマー　ＰＣＲ９７００	1	生活
リアルタイムＰＣＲシステム	タカラバイオ　ＴＰ８００	1	生活
凍結ミクロトーム	ライカ社　ＣＭ１８００	1	生活
冷蔵装置	三洋電機　ＭＥＤＩＣＯＯＬ	1	生活
蛍光顕微鏡	オリンパス　BX51-33-FLD-2,DP70-SET-A	1	生活
ゲルマニウム半導体γ線検出器	キャンベラジャパン　ＧＣ３０１８	1	環境
全有機炭素計	島津　ＴＯＣ－Ｌ	1	環境
イオンクロマトグラフ	日本ダイオネクス　ＩＣＳ－２１００	1	環境
ＩＣＰ発光分光分析計	ｻｰﾓﾌｨｯｼｬｰｻｲｴﾝﾃｨﾌｨｯｸ　ｉＣａｐ６５００Ｄｕｏ	1	環境
上皿直示天秤	ザルトリウス　ＣＰＡ２２０２Ｓ	1	食品
直示天秤	島津製作所(株)　ＡＵＷ２２０Ｄ	1	食品
遠心エバポレーターシステム	東京理科機器(株）ＣＶＥ－３１００	1	食品
ロータリーエバポレーター	日本ビュッヒ　Ｒ－３型他	1	食品
超音波ホモジナイザー	(株）マイクロテック・ニチオン	1	食品
超高速ホモジナイザー	(株）マイクロテック・ニチオン	1	食品
メディカルフリーザー	三洋電機（株）　ＭＤＦ－Ｕ５３８Ｄ	2	食品
高速冷却遠心機	ＫＵＢＯＴＡ　７７８０	1	食品
ザルトリウス超純水製造装置	アリウム６１２純水製造装置	1	食品
冷蔵庫	シャープ　ＳＪ－ＸＦ６０Ｔ	1	食品
乾熱滅菌器	アドバンテック　ＳＴＮ４２０ＤＢ	1	食品
水平振とう機	東京理科機器(株)　ＭＷＳ－３０１０	1	食品
製氷機	ホシザキ電気(株）ＦＭ－１３０Ｋ	1	食品
ｹﾞﾙﾏﾆｳﾑ半導体検出放射能測定装置	セイコー・ジーイーアンドジー株式会社	2	食品
サーベイメータ	ＡＬＯＫＡ　ＴＧＳ－１４６	1	食品

6.2　新規購入図書

分　類	雑　　誌　　名	巻　号
(邦文雑誌)		
430 化学	食品衛生研究	61-62
490 医学	保健医療科学	60
	PHARM TECH JAPAN	27-28
518 衛生工学	資源環境対策	47-48
	環境技術	40-41
	全国環境研会誌	1-4
	官公庁環境専門資料	46-47